



# NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL <http://www.shibuya-p.com>

7月1日は雑節（ざっせつ）の「半夏生」。????. . . 雑節・それなんですか？  
雑節には二十四節気を補う、季節の移り変わりの目安としての役割があり「土用・節分・彼岸・八十八夜・入梅・半夏生・二百十日」があります。「半夏生」は太陽の黄経が100度になる日で、夏至から数えて11日目の日。今年7月1日でした。

昔、「半夏生」を過ぎての田植えは、はなはだしく収穫が減少することから「半夏半作」といわれ、「半夏生」は「田植えを終える」目安の日として農家にとって大事な日であったようです。

そして、シブヤの庭ではこの季節になると「ハンゲショウ」の花をみることが出来ます。「半夏生」の頃に花をつけることからこの名前になったと言う説と葉っぱの一部が白くなり、化粧をしたようなので「半化粧」という説があるようです。

「ハンゲショウ」は、ドクダミ科の多年性落葉草本で、シブヤの庭では「ドクダミ」とともに年毎に地下茎を伸ばし勢力を広げています。

7月に入り、梅雨明け時期が気になるころですが、過去のデータからすると17日頃から7月24日頃の間になりそうとのこと。7月18日の海の日までに梅雨明けし、夏休み中、唯一の3連休が家族そろっての海水浴日和となることを願っています。

海水浴で気になるのが「台風」。今年6月中に大風は発生せず、観測史上2番目に遅い、7月3日ようやく、台風1号が発生しました。7月以降に発生がずれ込んだ年は過去に2回しかなく、今年3回目の珍しい現象となりました。今後発生数が増えるのか、このまま少ないのかはデータからも判らないとのこと。

何はともあれ、梅雨の雨も、台風の雨も渇水にならないように、被害が出ないように降って欲しいものです。



## 30年のフロン規制実る オゾンホール縮小

有害な紫外線を遮る南極上空のオゾン層が破壊され、穴があいたような状態になる「オゾンホール」の面積が、過去15年間で400万平方キロメートル余り縮小し、オゾン層が回復する兆しを見せているとする研究結果を、アメリカの大学などのグループがまとめました。(NHK NEWS WEBより)

皆さんご存知のとおり、オゾン層は、有害な紫外線から皮膚炎、皮膚ガンなど深刻な健康被害のリスクから私たち守ってくれています。そのオゾン層に穴が開いているのがわかったのが今から33年前、1982年のことでした。日本の南極昭和基地の観測データから、南極上空にオゾン層の薄い場所が見つかるという、衝撃的な事実が発表され、以後、穴のようになったこの場所を「オゾンホール」と呼ぶようになりました。

有害な紫外線を遮るオゾン層は、1980年代以降、冷蔵庫などに使われていたフロンガスなどの排出によって破壊が進み、1987年に採択された「モントリオール議定書」を受けて、各国がフロンガスなどの排出規制を強化するなど、オゾン層を保護する取り組みが続けられてきました。

アメリカのマサチューセッツ工科大学や、イギリスのリーズ大学などの研究グループのが、7月30日付けのアメリカの科学雑誌「サイエンス」に南極上空のオゾンホールの状況を、日本の昭和基地や人工衛星などから得た観測データをもとに解析した結果を発表。1年のうちでオゾンホールの面積が最大に近づく9月のデータを比較した場合、ピークだった2000年から去年までの15年間で400万平方キロメートル余り縮小していたということです。

これについて研究グループでは、「世界が正しい道を進むことで、地球が回復に向かうのを確かめることができた」として、オゾン層が回復する兆しを見せていると結論づけています。

環境破壊を防ぐためには、これからもオゾンホールに限らずグローバルに取組まなければならない問題も数多くあることでしょう。また、一人一人、個々の行動、活動が身近な環境を変えてゆくことも数多くあります。「私ぐらい」と思わず、「私だけは」と考え、出来ることから行動しましょう。

## もう一度考えよう！！ 紙・水・電気・ガソリン

最近ハイブリット車をはじめとして燃費が格段に向上したエコ・カーと称する車が主流になり、エコ・ドライブを実践しなくとも、以前に比べればガソリンの消費量は少なく済むようになりました。

「エコ・ドライブ」は安全運転にも繋がります。もっと、燃費が良くなります。

もう一度「エコ・ドライブ」にチャレンジしませんか。

### 【エコドライブ10のすすめ】 (環境証HPより)

#### 1. ふんわりアクセル「eスタート」

発進するときは、最初の5秒で、時速20km程度が目安です。日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。

#### 2. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

走行中は、一定の速度で走ることを心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

#### 3. 減速時は早めにアクセルを離そう

信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。エンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。

「ニュース・エコ」平成18年4月号では月間行動目標に「エコドライブを実践しよう」を掲げています。

その年のシブヤパイピング工業の「環境活動計画書」・「自動車利用における環境配慮の実施」として、エコドライブを取り上げています。

#### 4. エアコンの使用は適切に

暖房のみときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。また、冷房が必要なときは、冷やしすぎないようにしましょう。車内の温度設定を外気と同じ25℃に設定した場合エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化します。

#### 5. ムダなアイドリングはやめよう

10分間のアイドリングで、130cc程度の燃料を消費します。※手動アイドリングストップは、以下の点に注意しましょう。

- ・何度かブレーキを踏むとブレーキの効が悪くなります。
- ・エアバッグや方向指示器が作動しないため、先頭車両付近や坂道での手動アイドリングストップは避けましょう。

#### 6. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

#### 7. タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧が適正値より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します。

#### 8. 不要な荷物はおろそう

#### 9. 走行の妨げとなる駐車はやめよう

#### 10. 自分の燃費を把握しよう

